

# タフシール#70N



防水ライニング用防食ポリエステル樹脂クリヤータイプ「タフシール#70」は、「タフシール#70N」内容を変更させていただきます。

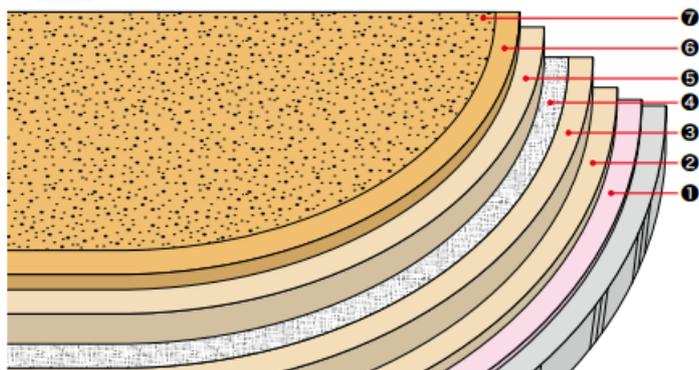
## ■保護モルタル工法

下地にFRP防水を形成させた後、保護モルタルを打設する工法です。タフシール#70Nを使用することで耐アルカリ性に優れた防水層を形成します。

用途 保護モルタル仕上げなど

標準仕様

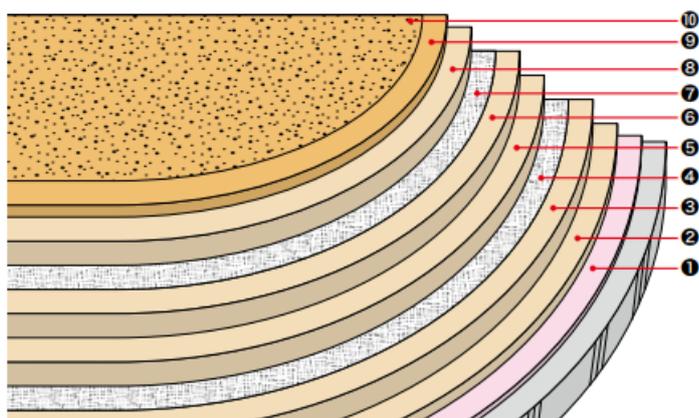
### TS-H工法(1Ply)



●TS-H工法(1Ply)

工程	使用材料	使用量
7	けい砂3~4号	0.3kg/m <sup>2</sup> 以上
6	タフシール#70N	0.5kg/m <sup>2</sup>
5	タフシール#50	0.8kg/m <sup>2</sup>
4	タフマット#450	—
3	タフシール#50	0.8kg/m <sup>2</sup>
2	タフシール#50	0.4kg/m <sup>2</sup>
1	タフシール速乾プライマー	0.2kg/m <sup>2</sup>

### TW-H工法(2Ply)

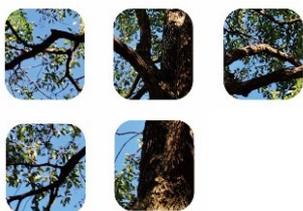


●TW-H工法(2Ply)

工程	使用材料	使用量
10	けい砂3~4号	0.3kg/m <sup>2</sup> 以上
9	タフシール#70N	0.5kg/m <sup>2</sup>
8	タフシール#50	0.7kg/m <sup>2</sup>
7	タフマット#380	—
6	タフシール#50	0.7kg/m <sup>2</sup>
5	タフシール#50	0.7kg/m <sup>2</sup>
4	タフマット#380	—
3	タフシール#50	0.7kg/m <sup>2</sup>
2	タフシール#50	0.4kg/m <sup>2</sup>
1	タフシール速乾プライマー	0.2kg/m <sup>2</sup>

## ■注意事項

- 保護モルタルの施工は別途となります。
- 積層樹脂はタフシール#50Tもご使用いただけます。
- 立上りを施工する場合はタフシール#50、#70Nに必要な応じて増粘材を添加してください（「タフシール防水工法カタログ」19ページ参照）。
- その他の注意事項は「タフシール防水工法カタログ」22ページを参照ください。



## ●タフシール#70Nの可使時間（硬化剤添加量と液温の関係）

硬化剤 添加量	タフシール#70N S (夏型)					タフシール#70N W (冬型)				
	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃
1.0%	-	95分	60分	33分	18分	60分	34分	18分	12分	7分
1.5%	-	58分	33分	20分	13分	42分	24分	16分	8分	-
2.0%	56分	48分	23分	14分	-	33分	19分	9分	-	-
2.5%	35分	23分	14分	-	-	25分	12分	-	-	-
使用期間	4～11月					10～5月				

- 荷姿 石油缶 18kg入
- 施工間隔 3時間以上、24時間以内
- 塗料粘度（23℃） 200～500mPa・s

## 取り扱い上の注意事項 (よく読んでご使用ください)

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が生じた場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 加熱、衝撃などにより、爆発的に燃焼する恐れがありますので、取り扱いには充分にご注意ください。硬化剤は有機過酸化物で分解を起こしやすい化合物です。貯蔵や取り扱い、使用時は充分に注意した上で取り扱う必要があります。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。有機過酸化物を取り扱う場合は必ず保護メガネ、保護手袋を着用するようにしてください。
- 取り扱い作業中は、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料のため、廃棄付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります）。
- 取り扱い後は手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は直ちに多量の水で少なくとも5分以上洗い、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で充分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをし、直射日光や雨露の当たらない、冷暗所で保管してください。現場で材料を保管する場合は、特に注意してください。夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。
- 施工中はスチレン臭や溶剤臭が発生します。施工の際は事前に近隣に連絡してください。特に化学物質過敏症の方がいらっしゃる場合は施工を避けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。また、施工時に屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。
- 本製品は危険物です。消防法や労働安全衛生法などの適用法令に従って保管してください。また、輸送時も消防法や道路運送車両法、船舶安全法、港則法などを遵守してください。
- 本製品の取り扱い、保管については、労働安全衛生法などの法令を遵守してご使用、保管を行ってください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、または安全データシート（SDS）をご参照ください。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。  
 施工上の注意事項は「タフシール防水工法カタログ」をよくお読みになり正しくご使用ください。  
 【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】